

[お 知 ら せ]

JIS R 9001 (工業用石灰) 及び JIS R 9011 (石灰の試験方法) は
平成 18 年 6 月 20 日に改正されました。

今回の改正要旨

- ・資源、エネルギーの有効利用
- ・有効成分の見直し
- ・機器分析試験の追加

主な改正点

(1) JIS R 9001 (工業用石灰)

軽焼ドロマイト及び水酸化ドロマイトを追加した。

不純分の定義の見直しを行った。

具体的には、不純分の項目が除かれ、文章として「工業用石灰には、その他成分として、二酸化けい素 (SiO₂)、酸化アルミニウム (Al₂O₃)、酸化第二鉄 (Fe₂O₃) などが含まれる。」と記述した。

粉末度の試験方法は石灰の試験方法として JIS R 9011 : (石灰の試験方法) に移行した。

(2) JIS R 9011 (石灰の試験方法)

石灰の化学分析方法から石灰の試験方法に名称変更した。

強熱減量の定量方法を石灰石の分析方法 1000 ± 50 から 1050 ± 50 恒量に変更した。

二酸化けい素、酸化アルミニウム、酸化第二鉄、酸化カルシウム、酸化マグネシウム、全硫黄及び五酸化りんの定量方法に蛍光 X 線分析方法を追加した。

酸化アルミニウム、酸化第二鉄及び酸化マグネシウムの定量方法に原子吸光分析法を追加した。

酸化アルミニウム、酸化第二鉄、酸化マグネシウム及び五酸化りんの定量方法に発光分光分析法を追加した。

五酸化りんの定量方法において、還元剤としてアスコルビン酸及び吸光波長 830nm (ナノメートル) を追加適用した。

全硫黄の定量方法に赤外線吸収法を追加した。

二酸化炭素の定量方法に赤外線吸収法及び容量法を追加した。

付着水分の定量方法を新たに加えた。

塊状試料の分析用試料調整粒度を 150 ミクロメートル全通から 300 ミクロメートル以下に変更した。

粉末度試験方法を、JIS R 9001 からこの規格に移行した。

水酸化ドロマイトの分析は旧規格の湿式法が多く、機器分析法を採用している試験所が少ないので、上記 ~ 及び と の機器分析法の適用を除いた。

上記 JIS は、(財)日本規格協会販売しています。

(1) 価 格 JIS R 9001 : 2006 定価 945 円 (1 冊)

JIS R 9011 : 2006 定価 2,940 円 (1 冊)

(2) 購入方法 日本規格協会書店販売、通信販売、ホームページ申込など

(財)日本規格協会 本部住所 : 東京都港区赤坂 4 - 1 - 2 4

通信販売 TEL 03-3583-8002

書店販売 TEL 03-3583-8041

日本規格協会ホームページアドレス URL : <http://www.jsa.or.jp/>

以上